

## 「すまいる・あくしょん」の更新について

### 1 趣旨・経緯

- ・ 本県では、令和2年度にコロナ禍の子どもたちの声をもとに、子どもの笑顔を増やすための行動様式「すまいる・あくしょん」を策定し、企業・団体や市町と連携して普及啓発に取り組んできた。
- ・ コロナ禍での策定から5年以上が経ち、子どもたちを取り巻く環境の変化や、「滋賀県子ども基本条例」の施行を受け、子どもたちの現状や思いをもとに更新を行った。

### 2 更新のポイント

- ・ 現「すまいる・あくしょん」の趣旨を引き継ぎながら、今年度実施した「滋賀の子どもの声調査」や日頃から子どもと関わる方々へのヒアリングをもとに内容を更新。
- ・ 「子どもの権利」を根幹に置くとともに、新たに「挑戦」というキーワードを追加し、夢や希望を持って積極的に挑戦していける滋賀を目指す。

### 3 新「すまいる・あくしょん」の概要

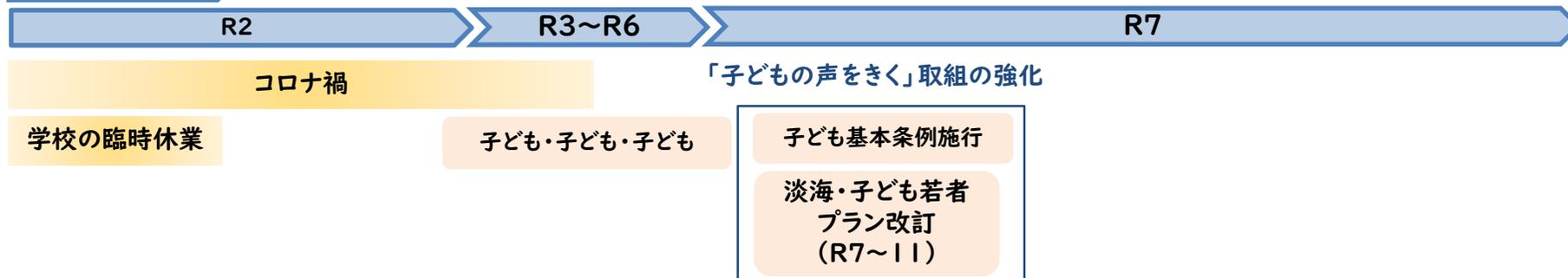
- ・ 「滋賀県子ども基本条例」のもとに位置づけ、子どもの権利が守られ、子どもが笑顔で成長できる社会の実現に向け、社会全体で大切にしたいことを子どもの視点からわかりやすい「7つの行動」で表した。
- ・ 「子どもの権利」から派生する「子どもが自分自身のために行動できること」を「こどもあくしょん」、「子どもの権利を守るために大人が行動すること」を「おとなあくしょん」として整理。
- ・ 「おとなあくしょん」は、子どもを取り巻く大人(行政・企業・団体・地域等)がそれぞれの立場で行動に移していくことで、子どもを真ん中に置いた気運醸成を図る。



### 4 普及啓発に向けた取組

- ・ 令和8年2月10日 子ども政策推進本部で議論・公表 / 市町へ通知  
企業・団体等向け「すまいる・あくしょん宣言登録」周知
  - ・ 令和8年3月7日 キックオフイベントの開催
- 更新後の「すまいる・あくしょん」を全庁で推進するとともに、「子どもの権利」や「挑戦」等の新たな視点を踏まえた企業・団体等との事業連携や好事例の発信・横展開を推進していく。

## 経緯



## すまいる・あくしょん策定

コロナ禍の子どもたちの生活の様子や心境を把握するため、大規模なアンケート調査を実施

- 集まった3万人の声をもとに、子どもの笑顔を増やすための行動様式「すまいる・あくしょん」を策定



## 子どもたちの現状・課題把握

- ✓ 「滋賀の子どもの声調査」  
統計学的手法に基づく標本調査・広くオープンに声を聴くWEB調査を組み合わせ実施



延べ約5,000件の回答

- ✓ 日頃から子どもと関わる方々へのヒアリング

- 主なヒアリング先  
大学教授、大学生、学校教員、保育士、塾講師、小学校PTA代表、小児科専門医、子育て支援団体のみなさま



## すまいる・あくしょんリニューアル

- 引き続き、地域・企業・団体の方々と協力し、社会全体の行動変容を促進

## 更新のポイント

- 「子どもの権利」を根幹に位置づけ、そこから派生する「子どもが自分自身のために行動できること」を「こどもあくしょん」、「子どもの権利を守るために大人が行動すること」を「おとなあくしょん」として整理。
- 新しく「挑戦」というキーワードを加え、子どもたちが夢や希望を持って挑戦していける滋賀を目指す。

# 「滋賀の子どもの声調査」を踏まえた更新の過程

現・すまいるあくしょん

R7滋賀の子どもの声調査結果概要【標本+WEB】

新・7つのあくしょん方向性

<p>自分も周りの人も大切に</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 心・身体の健康と「幸せ度」との深い関わり</li> <li>● 幸せ度や自己肯定感は年齢とともに低下傾向</li> <li>● 幸せ度が0-3点の子どもの30.3%が「誰にも相談しない」と回答</li> </ul> <p>➤ <b>まずは心と身体の健康が大切。周りを頼って、自分を守るための行動が必要</b></p>	<p>①心と身体の健康</p> <p>自分自身を大切に</p> 
<p>頼れる場所や人を見つけよう</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● みんなが笑顔であるためには、個性を尊重すること、多様性を受容すること、いじめをなくすこと、対話を通じて理解すること等が重要であると回答</li> </ul> <p>➤ <b>多様性を尊重し、他者を大切にしたいという子どもたちの想いを反映</b></p>	<p>②多様性の尊重</p> <p>ちがいをみとめ合おう</p> 
<p>身体を動かしてしっかり遊ぼう わくわく感動する気持ちを持とう</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 安心できる居場所の存在が増えるほど、「幸せ度」が高まる傾向</li> <li>● 家や学校以外に行きたい居場所の多様なニーズ</li> </ul> <p>➤ <b>一人ひとりの個性・状況に応じた多様な居場所があることが必要</b></p>	<p>③安心・安全な居場所</p> <p>ほっとする場所を見つけよう</p> 
<p>感染症を正しく知って行動しよう オンラインを上手に活かそう</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校の授業以外で取り組んだ活動の種類が多いほど、自己肯定感が高くなる傾向</li> </ul> <p>➤ <b>子どもが主体的に、自由に選びながら多様な体験ができる環境が必要</b></p>	<p>④体験・学びの機会</p> <p>体験を通して発見しよう</p> 
<p>今の気持ちを伝えよう</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インターネット・SNS利用に伴い、虚偽情報や人間関係におけるトラブルに遭遇するリスクが増加</li> <li>● 対話の中で自分の意見を持つ・伝えることを大切にしたいと回答</li> </ul> <p>➤ <b>デジタル社会の中で、膨大な情報をもとに自分で考えることが必要</b></p>	<p>⑤デジタル・情報社会</p> <p>情報を活かして自分で考えよう</p> 
<p>既存指標なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「意見をきいてもらえる」という意識は、年齢が上がるにつれて低下傾向</li> <li>● 高2世代の「社会を変えられる」という自己効力感は、全国調査の17~19歳の回答と比較して約13ポイント低い。</li> <li>● 学業・人間関係・社会問題等の様々な大人に伝えたい悩みの声</li> </ul> <p>➤ <b>子どもの声を尊重し、安心して声を上げられる環境が必要</b></p>	<p>⑥意見表明・社会参画</p> <p>気持ちや意見を伝えてみよう</p> 
<p>既存指標なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 困難に対する前向きな姿勢、将来への明るい希望は、年齢とともに低下傾向</li> <li>● 学業・運動・デジタル・社会貢献など多様な分野で「できるようになりたい」と具体的な目標を回答。一方で、「失敗するのが怖い」という声も</li> </ul> <p>➤ <b>子どもたちが失敗を恐れず、夢や希望を持って挑戦していける環境が必要</b></p>	<p>⑦積極的に挑戦できる環境</p> <p>小さなことから挑戦しよう</p> 

# 新「すまいる・あくしょん」の位置づけ

「すまいる・あくしょん」とは …子どもの笑顔を増やすために社会全体で大切にしたい行動

「滋賀県子ども基本条例」が目指す社会（子どもの権利が守られ、子どもが笑顔で成長できる社会）の実現に向けて大切にしたいことについて、子どもたちの現状や課題・思いを踏まえ、**子どもの視点からわかりやすい7つの行動**として示したもの

## 子どもの権利

4つの原則：差別の禁止・子どもの最善の利益・生命、生存及び発達に対する権利、子どもの意見の尊重

## 滋賀県子ども基本条例

- 子どもを「守られる存在」だけでなく権利の主体として位置づけ
- 基本理念を定め、行政・家庭・事業者等の責務を明示



具体的にどんなことをしたら良いの？



子どもたちの現状・課題は？  
⇒子どもの声調査の実施

子ども・大人それぞれの立場からより実践しやすい形へ

## 新「すまいる・あくしょん」

### こどもあくしょん：子どもが自分自身のために行動できること



自分自身を大切に



ちがいをみとめあおう



ほっとする場所を見つけよう



体験を通して発見しよう



情報を活かして自分で考えよう



気持ちや意見を伝えてみよう



小さなことから挑戦しよう

### おとなあくしょん：子どもの権利を守るために大人が行動すること

01 心と身体の健康を支える

02 違いを認め理解し合える社会をつくる

03 安心できる多様な居場所をつくる

04 体験活動や学びの機会を増やす

05 情報との向き合い方を伝え一緒に考える

06 子どもの意見を尊重し行動につなげる

07 積極的に挑戦できる環境をつくる

滋賀県

「淡海・子ども若者プラン」に示された施策の推進／各市町との連携強化

企業

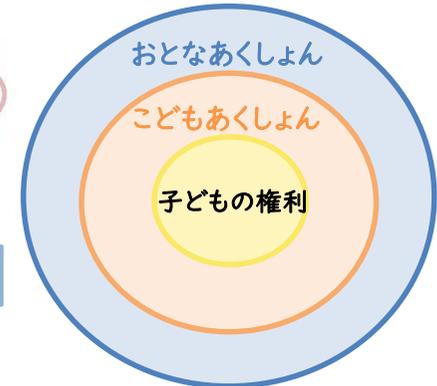
(例) ワークライフバランスの推進／子どもの体験・学習機会の提供等

団体・地域等

(例) 地域での子どもの居場所づくり等

「すまいる・あくしょん宣言登録」により事例の横展開

### ※概念図



# 新「すまいる・あくしょん」

## おとなあくしょん

子どもの権利を守るために  
大人が行動すること

## こどもあくしょん

子どもが自分自身のために  
行動できること

積極的に挑戦できる  
環境をつくる



### ⑦積極的に挑戦できる環境



小さなことから  
挑戦しよう

子どもの意見を尊重し  
行動につなげる



### ⑥意見表明・社会参画



気持ちや意見を  
伝えてみよう

### ⑤デジタル・情報社会への対応



情報を活かして  
自分で考えよう

情報との向き合い方を  
伝え一緒に考える



すまいるあくしょん

### ①心と身体の健康

心と身体の健康  
を支える



自分自身を  
大切に



### ②多様性の尊重

ちがいを  
みとめ合おう



違いを認め理解し合える  
社会をつくる



### ③安心・安全な居場所

ほっとする場所  
を見つけよう



安心できる多様な  
居場所をつくる



### ④体験・学びの機会



体験を通して  
発見しよう

体験活動や学びの  
機会を増やす

